

平成 30 年 5 月 22 日現在

機関番号：14101

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K04494

研究課題名(和文)「学びの共同体」における体育授業のデザイン開発と学びのネットワークの構築

研究課題名(英文) The Design Development of Physical Education Classes and the Construction of a Learning Network on a Learning Community

研究代表者

岡野 昇 (Okano, Noboru)

三重大学・教育学部・教授

研究者番号：20314106

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は「学びの共同体」を標榜する学校改革の体育編であり、質の高い体育の学びのデザイン開発を行うことを目的とすると同時に、研究代表者らの研究機関をハブ機能とした教師の学びの支援ネットワークを推進することを目的とした。成果としては「21世紀型の体育科の授業と学び」の実現に向けて、独自に『学びのこよみ』(小学校体育：低・中・高学年版)を開発した。これは4月始まりの月別卓上カレンダーで、新学習指導要領の領域構成と内容に基づいた単元デザインを12か月分、配列したものである。また、本プロジェクトとして開催した「学びの会」には、3年間で約418名の教師や教育関係者の参加があり、実践と研究の交流を図った。

研究成果の概要(英文)：This research is concerned with the reform of physical education on schools that advocate a “learning community.” It aimed to develop the design of a high-quality physical education learning and promote a support network for teachers as a hub of our research institutions. We originally developed the Calendar of Learning (physical education for elementary school children: early, middle, and late elementary grades) in order to realize “physical education classes and learning for the 21st century.” It is a monthly desk calendar starting in April. It arranges the design of course units based on the range and content of new courses of study for twelve months. In addition, 418 teachers and other educators participated in the Learning Meeting that we organized for stimulating exchange of ideas on its practice and research among them.

研究分野：体育科教育学、学校教育学

キーワード：小学校体育 体育授業 授業デザイン 教材開発 協同学習 学びの共同体 学びのネットワーク 教師教育

1. 研究開始当初の背景

学びの共同体を標榜する学校改革が国内外で普及している。学びの共同体の学校は、子どもたちが学び育ち合う学校であり、教師たちも教育の専門家として学び合う学校であり、さらに保護者も市民も学校の改革に協力し参加して学び育ち合う学校である。この明確なヴィジョンによって、学校の公共的使命である「一人残らず子どもの学ぶ権利を実現し、その学びの質を高めること」と「民主主義の社会を準備すること」の実現をめざしており、これまで不登校や学校の荒れの減少、学力の向上等の成果を上げている。

学びの共同体の改革の特徴はいくつかあげられるが、協同的学び (collaborative learning) による授業改革を外すことはできない。協同的学びは、ヴィゴツキーの発達最近接領域の理論と、デューイの民主主義と対話的コミュニケーションの理論を基礎としている 21 世紀型の授業である。現在、学びの共同体に取り組む学校では、聴き合う関係を基盤とした、教科の本質に即した学びの実践と、高い学習課題の設定の研究が中心である。

一方、こうした実践や研究は、教室で行われる教科に傾斜しており、実技系教科の実践事例は数少ないのが現状である。特に、非言語的 (身体的) コミュニケーションが基盤となり、机や椅子が不在の環境で展開される体育 (体育科・保健体育科) では、授業改革が遅れている。話し合いが中心となる授業、仲間づくりに傾斜する授業、パフォーマンスが向上しない授業などが散見される。これらは教室で行われる教科の形と方法を、そのまま体育でも取り上げようとする点に原因がある可能性が高い。

研究代表者はこれまで、学びの共同体の提唱者である佐藤学 (学習院大学教授・東京大学名誉教授) が提示した「対話的学びの三位一体論」に基づきながら、「体育における対話的学び」の三位一体を明らかにし (岡野・山本、2012)、そのデザインの手順を提出してきた (岡野・山本、2012)。そこでは小学校体育授業実践 (小型ハードル走) を通して、「協同的学び (collaborative learning) における発達過程」 (岡野ら、2013) を解明した。学び手の安定している状態に「運動の中心的なおもしろさ」を基軸とした難易度の高い条件を付加した課題を提示することで不安定な環境が作りだされ、学び手はその中で異質な他者 (仲間) や教師からの援助を受けながら試行錯誤を繰り返し、やがては大きなゆらぎをきっかけにそれまでの運動を壊し、新しい運動を構築するというプロセスをたどることが明らかにされた。また、小学校体育授業実践 (短距離走・リレー) を通して、「真正な学び (authentic learning) におけるわざの形成過程」 (岡野、2014) について解明してきた。「運動の中心的なおもしろさ」に迫るためには、該当学年の教育内容を基盤としな

がらも、その範囲は該当学年を超えるところに設定し、その領域 (範囲) の中に学びをデザインすることが重要となることが示唆された。

以上、「体育における対話的学び」の三位一体論とその授業デザインの手順は、学びの共同体における体育授業のモデルとして相応しいのではないかと考えられた。すなわち、前述した「話し合い中心」「仲間づくり中心」「パフォーマンスが向上しない」といった問題を解決する 21 世紀型の授業と学びのモデルとして「体育における対話的学び」の三位一体論と授業デザインの手順を援用し、教科書が存在しない小学校体育を対象に「学びの共同体における体育授業デザイン集」の開発を行うことを主題とした。

2. 研究の目的

上記に示した問題点を解決するために、本研究では小学校体育を対象に、学習指導要領で取り上げられている全領域について、授業実践事例を交えた授業デザイン集を開発することを目的とした。1 年目は主に個人種目領域 (器械運動系、陸上運動系、水泳系) を対象とし、2 年目は集団種目 (ボール運動系) 体づくり運動・表現運動領域を対象に、実践省察に基づいた単元デザインの提出を課題とした。そして 3 年目には、開発した体育授業デザインの発信と学びのネットワークを構築することを課題とした。

3. 研究の方法

本研究では目的遂行のために、以下の 3 つの課題を設定した。

【課題 1】3 つの実践フィールド連携研究プロジェクトを立ち上げ、個人種目領域 (器械運動系、陸上運動系、水泳系) を対象とした授業デザインの開発と実践と省察を行うこと。

【課題 2】3 つの実践フィールド連携研究プロジェクトを立ち上げ、集団種目領域 (ボール運動系) 表現運動・体づくり運動領域を対象とした授業デザインの開発と実践と省察を行うこと。

【課題 3】課題 1 と 2 を踏まえながら、「学びの共同体における体育授業デザイン集」を開発し、全国の教員の体育教材研究を支援するためのホームページを立ち上げること。また、研修教員を受け入れるための学びのネットワークを構築すること。

4. 研究成果

本プロジェクト研究は、「学びの共同体」を標榜する学校改革の体育版であり、質の高い体育の学びのデザイン開発を行うことを目的とすると同時に、研究代表者らの研究機関をハブ機能とした教師の学びの支援ネッ

トワークを推進することを目的としてきた。目的遂行のために実践フィールド連携研究プロジェクトを立ち上げ、個人種目領域（器械運動系、陸上運動系、水泳系）、集団種目領域（ボール運動系）、表現運動・体づくり運動領域を対象とした実践と省察を踏まえて、「学びの共同体における体育授業デザイン集」の作成に取り組んだ。

その「学びの共同体における体育授業デザイン集」として、独自に「学びのこよみ」（小学校体育：第1・2学年版、第3・4学年版、第5・6学年版）を開発した。これは4月始まりの月別卓上カレンダーで、新学習指導要領の領域構成と内容に基づいた単元デザインを12か月分、配列したものである。全部で36の単元デザインを考案した。

1か月分の単元デザインは、「イラスト側（表面）」に「実施月」、「運動領域（運動小領域）」、「対象学年」、「共有の学びとしての学習課題」、「学習課題にかかわる学びの様相（左イラスト）」、「わざ（身体技法）にかかわる学びの様相（右イラスト）」について示した。（図1）



図1 イラスト側(表面)

また、「解説側(裏面)」に、「実施月」、「運動領域（運動小領域）」、「対象学年」、「転換させたい学習内容」、「行い方」、「場づくり」、「ジャンプの学びとしての学習課題」、「たちあげたい身体技法」について示した。（図2）

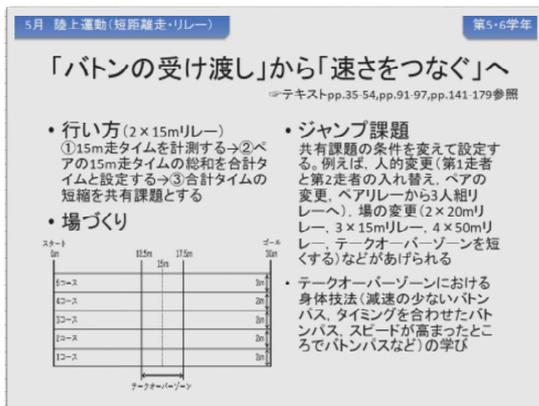


図2 解説側(裏面)

実践フィールド連携研究プロジェクトとしての公開研究会、派遣研修教員の受け入れ、各種研修会における成果発信の実績は、次のとおり159件であった。

- 〔2015年度〕(計57件)
- 04/10 津市立東観中学校
- 04/17 四日市市立河原田小学校
- 04/23 津市立芸濃中学校
- 04/24 四日市市立三重北小学校
- 05/01 松阪市立朝見小学校
- 05/08 東員町立笹尾西小学校
- 05/15 四日市市立河原田小学校
- 05/21 四日市市立日永小学校
- 05/22 津市立東観中学校
- 05/29 松阪市立朝見小学校
- 06/04 四日市市立日永小学校
- 06/05 四日市市立三重北小学校
- 06/12 四日市市立河原田小学校
- 06/19 津市立東橋内中学校
- 06/26 松阪市立東部中学校
- 07/03 四日市市立三重北小学校
- 07/23 堺市立立晴美台中学校区研修会
- 07/29 授業づくり・学校づくりセミナー
- 07/31 名張市教職員研修会
- 08/03 山口県宇部市学びの創造推進事業
- 08/11 石川県小中学校教育研究会
- 08/20 三重県国公立幼稚園・子ども園長会研修会
- 08/20 松阪市立朝見小学校
- 08/23 三重学びのネットワーク
- 08/24 三泗乳幼児教育研修会
- 08/24 津市立東観中学校区地域教育推進協議会研修会
- 08/25 東員町立笹尾西小学校
- 08/28 四日市市立河原田・三重北小学校
- 08/28 四日市市立河原田小学校
- 09/30 津市立芸濃中学校
- 10/02 滋賀県立草津高等学校
- 10/09 四日市市立河原田小学校
- 10/16 四日市市立三重北小学校
- 10/23 東員町立笹尾西小学校
- 10/30 津市立東観中学校
- 11/06 松阪市立朝見小学校
- 11/13 津市立東橋内中学校
- 11/14 四日市市立三重北小学校
- 11/17 三重大学教育学部附属中学校
- 11/21 四日市市立河原田小学校
- 11/24 三重県高校保健体育研究会
- 11/27 津市立東観中学校
- 12/04 東員町立笹尾西小学校
- 12/11 松阪市立朝見小学校
- 12/18 四日市市立三重西幼稚園
- 12/23 三重学びのネットワーク
- 01/08 津市幼稚園教職員研修会
- 01/15 四日市市立河原田小学校

01/22 四日市市立三重北小学校
01/23 津市立東観中学校
01/29 津市立東橋内中学校
02/02 四日市市立常磐小学校
02/04 松阪市立朝見小学校
02/05 四日市市立三重北小学校
02/20 松阪市立朝見小学校
02/26 四日市市立河原田小学校
03/04 松阪市立東部中学校学校関係者会議

〔2016年度〕(計58件)

04/08 四日市市立河原田小学校
04/15 四日市市立常磐小学校
04/22 四日市市立三重北小学校
04/26 津市体力向上推進会議
05/06 松阪市立朝見小学校
05/10 津市立東橋内中学校
05/13 東員町立笹尾西小学校
05/20 四日市市立河原田小学校
05/27 四日市市立常磐小学校
06/02-03 岡山市立西大寺中学校(派遣研修1名)
06/02-03 岡山市立岡輝中学校(派遣研修1名)
06/03 四日市市立河原田小学校
06/10 四日市市立三重北小学校
06/11 東員町幼稚園・保育園教員研修会
06/17 東員町立笹尾西小学校
06/21 津市立東観中学校
06/24 四日市市立常磐小学校
06/25 伊勢市乳幼児教育講演会
07/01 四日市市立三重北小学校
07/05 津市体力向上推進会議
07/08 松阪市立朝見小学校
07/12 津市立橋北中学校
08/01 四日市市立河原田・三重北小学校
08/01 四日市市立河原田小学校
08/04 山口県宇部市学びの創造推進事業
08/25 松阪市立朝見小学校
08/26 東員町立笹尾西小学校
08/29 津市立東観中学校区地域教育推進協議会研修会
09/06 津市立東観中学校
09/30 滋賀県立草津高等学校
10/07 四日市市立三重北小学校
10/14 四日市市立河原田小学校
10/21 東員町立笹尾西小学校
10/28 四日市市立常磐小学校
11/01 学びのデザイン検討会/河原田小学校
11/04 京都府城陽市立城陽中学校
11/10 学びのデザイン検討会/河原田小学校
11/12 四日市市立河原田小学校
11/12-13 宇部市立東岐波中学校(派遣研修3名)
11/18 四日市市立常磐小学校
11/19 四日市市立三重北小学校

11/25 東員町立笹尾西小学校
11/30 松阪市立朝見小学校
12/01 津市立橋北中学校
12/02 津市立東橋内中学校
12/09 山口県宇部市立東岐波中学校
01/13 四日市市立三重北小学校
01/20 四日市市立河原田小学校
01/27 四日市市立常磐小学校
01/28 尾鷲市乳幼児研修会
02/03 四日市市立河原田小学校
02/09 津市立東橋内中学校
02/10 津市立椋本幼稚園
02/28 松阪市立朝見小学校
03/03 四日市市立三重北小学校
03/09 四日市市立常磐小学校
03/27 津市体力向上推進会議

〔2017年度〕(計45件)

04/14 四日市市立河原田小学校
04/21 四日市市立三重北小学校
04/28 四日市市立常磐小学校
05/11 津市立東橋内中学校
05/12 津市立橋北中学校
05/19 四日市市立常磐小学校
05/26 四日市市立河原田小学校
06/02 東員町幼稚園・保育園研修会
06/09 四日市市立常磐小学校
06/16 四日市市立三重北小学校
06/23 四日市市立河原田小学校
06/29 津市体力向上推進会議
06/30 四日市市立三重北小学校
07/31 津市教職員研修
08/01 四日市市立河原田・三重北小学校
08/01 四日市市立河原田小学校
08/02 全国体育学習研究会合同研究会
08/04 長野県中野市立高丘小学校
08/04 長野県中野市体育学習研究会
09/05 津市立橋北中学校
09/15 大阪市立大正中央中学校
09/29 四日市市立三重北小学校
10/13 四日市市立常磐小学校
10/20 四日市市立河原田小学校
10/27 四日市市立常磐小学校
10/28 四日市市立河原田小学校
11/02 長野県中野市立高丘小学校
11/10 埼玉県幸手市立権現堂川小学校
11/16 三重大学教育学部附属中学校
11/17 四日市市立常磐小学校
12/01 津市立東橋内中学校
12/02 四日市市立常磐小学校
12/08 山口県宇部市立東岐波中学校
12/15 東員町幼稚園・保育園研修会
12/16 日教組幼児教育部学習会
01/12 四日市市立三重北小学校
01/19 四日市市立河原田小学校
01/25 津市立久居西中学校

01/26 津市立東橋内中学校
02/02 四日市市立常磐小学校
02/03 津市立橋北中学校
02/09 四日市市立河原田小学校
02/20 東員町立稲部小学校
02/27 四日市市立三重北小学校
03/09 津市立豊里中学校

教員の学びのネットワークを促進するために研究代表者が主催した「学びの会」は、次のとおり13回で、418名の参加があった。

2015/04/26 「学びの共同体」における体育授業デザイン 18名
2015/06/13 「学びの共同体」における体育授業デザイン 18名
2015/09/12 「学びの共同体」における体育授業デザイン 16名
2015/12/19 「学びの共同体」における体育授業デザイン 14名
2016/03/26 学びの基盤と学びの作法と学びの技法を学ぶ 83名
2016/06/18 「学びの共同体」における体育授業デザイン 13名
2016/07/23 「学びの共同体」における体育授業デザイン 14名
2016/08/18 「学びの共同体」における体育授業デザイン 14名
2017/02/11 「学びの共同体」における体育授業デザイン 14名
2017/03/25 「学びの共同体実践リフレクション2016」と「学びのこよみ」 91名
2017/08/26 体育授業のビデオカンファレンスとデザイン検討 19名
2017/12/23 「学びのこよみ」の再編集 12名
2018/03/05 「体育における対話的学び」のデザインの行い方と実技講習 92名

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計6件)

岡野 昇・青木 眞「体育における『主体的・対話的で深い学び』に関する考察」『三重大大学教育学部研究紀要(教育科学)』第69巻、2018年、pp.259-266. 査読無。

岡野 昇・加納岳拓・上山 浩・山田康彦・辻 彰士・前田幹夫「継続型の親子運動遊びに関する実践的検討 『親子遊び手帳』の作成を通して」『三重大大学教育学部研究紀要(教育科学)』第69巻、2018年、pp.383-394. 査読無。

岡野 昇「『主体的・対話的で深い学び』を体育で実現するために」『体育科教育』第65巻第4号、2017年、pp.38-41. 査読無(依頼論文)。

岡野 昇「“競い合い”における学びのデザイン」『体育科教育』第64巻第2号、2016年、pp.33-35. 査読無(依頼論文)。

加納岳拓・林 直哉・岡野 昇「ゴール型ボールゲームにおけるわざの形成過程」『三重大大学教育学部研究紀要(教育科学)』第67巻、2016年、pp.215-224. 査読無。

岡野 昇「アクティブ・ラーニングは体育の学びをどう変えようとしているのか」『体育科教育』第63巻第8号、2015年、pp.16-19. 査読無(依頼論文)。

[学会発表](計2件)

岡野 昇「スポーツ心理学と学校体育『体育における対話的学び』のデザイン」日本スポーツ心理学会第44回大会学会企画シンポジウム(招待シンポジスト)、2017年11月26日、大阪商業大学。
前田幹夫・岡野 昇・加納岳拓「協同的学びにおける『聴き合う』関係の成り立ちに関する事例的検討 小学校第1学年体育・国語科の授業を通して」東海体育学会、2017年10月22日、皇學館大学。

[図書](計3件)

岡野 昇;日本学校教育学会編『これからの学校教育を担う教師を目指す』学事出版、2016年208p(pp.150-151)。

岡野 昇・佐藤 学編著『体育における「学びの共同体」の実践と探究』大修館書店、2015年、239p。(日本学校教育学会賞受賞、2016年)

岡野 昇;佐藤 学・浜崎美保・和井田節子・草川剛人編著『「学びの共同体」の実践 学びが開く!高校の授業』明治図書、2015年、173p(p.153)。

[その他]

ホームページ等

岡野昇研究室 三重大大学教育学部

<http://okanolab.jimdo.com/>

岡野 昇発行代表『学びのこよみ~小学校体育学習第1・2学年版~』『学びのこよみ~小学校体育学習第3・4学年版~』『学びのこよみ~小学校体育学習第5・6学年版~』

6. 研究組織

(1)研究代表者

岡野 昇(OKANO, Noboru)
三重大大学・教育学部・教授
研究者番号:20314106

(3)連携研究者

加納岳拓(KANO, Takahiro)
三重大大学・教育学部・准教授
研究者番号:50734810